

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 22回目

前回の続きから。足利家は清和源氏の一族の河内源氏の流れを汲み、源朝臣(あそん)と言われる。源氏と同じく石清水八幡宮への信仰が厚かった。特に3代將軍足利義満は生母が八幡宮検校の善法寺通清の娘ということもあり八幡宮に20回以上参詣。善法寺家も重んじた。また、4代將軍義持は10回。8代將軍義政(銀閣寺を建てた)が1453年の社参した時の進物品の数々…沙金2袋、白太刀5振、神馬3頭等々。参詣される度に下層神人の分担があって、きれいにする所が決められていたと。高良の右馬や祝(ほうい)九郎がまとめていたのではないかと。参詣に来られる度に大変だったと思います。進物のお下がりがあったとしても。

- ① 日時 2020年8月20日(木) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴22回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



例式
御棚三却立、中ノニ如此奉置也、
于時兼官融尊奉行之

康正貳年三月廿七日、巳刻 善法寺殿御着、
一、公方様當宮御社参之時條々
檜木ノ平折敷スワル、
一、御進物、沙金、貳裏、白太刀、
廿兩、廿兩、五振、御神馬、
三疋、兼日被下、
一鹿毛、二河瓦毛、三黒栗毛、

初御参宮也、御社参之時剋者、
午剋、御上洛者羊剋

(進物品・出口さん資料より)

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里1-2-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。